

50209その他の港湾運送業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	11	11~12	就業場所2号倉庫6Fにて、パレット上の荷物の積み替え中、荷物が落ちてきて、荷物と荷物の間に指を挟み、驚いて手を引いたところ、右手小指を骨折した。	39	4	611	50~99
2	2017	10	9~10	コンテナのバン詰作業中、コンテナ内にフォークリフトで運んだバッグ（約22kg）を積み上げようと持ち上げた際、身体のバランスを崩し腰部を捻り痛めた。	49	19	921	10~29
3	2017	9	15~16	空港へ到着後、同行者と合流する為、機内から空港内へ移動する渡り廊下を走って移動していたところ、渡り廊下端の溝に右足を引っ掛けてよろけ、足を捻った。	51	2	417	10~29
4	2017	8	12~13	倉庫内にて、スキーウェアを両手で抱えて運んでいたとき、床に置かれた空のパレットに気づかず、躓いて転倒し、骨折した。	48	2	417	30~49
5	2017	7	9~10	構内において、階下の作業現場で使用するPPロープ（長さ約2m）の束を持って階段を慌てて下りていたところ、PPロープが足に絡まって転倒しそうになったため、地面まで飛び降りてしまい（階段7段分、高さ1.7m）右足を負傷した。	48	4	529	30~49
6	2017	7	13~14	土場で石炭積込作業中に石炭の中の異物をふるいにかける機械に接触して重機の手すりが曲がり、それを直すために外へ出た所、運転席より2mくらい下に落下したがそのまま仕事を続けていた。後程、土場に來た人に病院に行くよう言われた。	56	1	141	10~29

7	2017	6	15~ 16	コンテナヤードから搬出するコンテナのドア開閉作業中、滑車付ステップを使用してドアを開けようとしたところ、ハンドルが曲がっていたため、バールを使って曲がりを見直ししようとしたが、バールがハンドルから外れ、その勢いでステップから転落し、右胸部を打撲し負傷した。	58	1	221	100 ~ 299
8	2017	5	4~5	サプリメントの出荷作業をしていたところ、サプリメントの袋入れが終了したので次の工程への移動中に、通路横に置いてあるパレットに躓いてしまい、前のめりに転倒してしまった。反射的に左手を地面につき、手首を骨折してしまった。	68	2	379	1~ 9
9	2017	3	11~12	ピッキングされた貨物に路線便向けのシール貼付作業を行っていた際、積み重なった20kgの貨物の下段にシールを貼付するため、20kg×2ケースを持ち上げ横に移動した際、腰痛を発症した。	46	19	611	50 ~ 99
10	2016	11	13~ 14	浚渫船Cのアンカーチェーンロッカー整備のため左舷とものチェーンを抜き出し揚錨船Bのウインチで巻き上げていたが揚錨船Bを他現場で使用する予定が入ったため、揚錨船Aにチェーンの端部を移し替える作業を行っていた時に、揚錨船B側の繰り出しの速さと揚錨船A側の巻き上げの速さが不適切であったため、ワイヤーがV字に巻き上げられる状態となり、揚錨船Aのアンカーローラーからワイヤーが外れ、揚錨船Aの甲板上に立っていた被災者の左足甲が、甲板とワイヤーの間に挟まれ負傷した。	58	7	219	50 ~ 99
11	2016	10	9~ 10	リーチフォークリフトにて荷受け作業中、バック走行時にシャッターの柱に接触しそうになり、左足で柱を押し返そうとしたとき、柱とリーチフォークリフトに左足を挟み負傷した。	45	7	222	100 ~ 299
12	2016	9	11~ 12	資材置場においてフォークリフトより飛び降りたところ、着地した地面に窪みがあり右足が窪みに入り捻って負傷した。	45	19	222	30 ~ 49
				デッキにおいて2段目コンテナ積付作業中、1段目コンテナ上部				

13	2016	8	23～ 24	につけたスタッカーがはずれたため、再度当該スタッカーをコンテナ1段目上部へ設置しようと同僚作業員がスタッカーを持ちコンテナ上部へ移動した。このとき、手が滑り、スタッカーを手から落としてしまい、当該スタッカーがデッキの床でバウンドして、ラッシング作業のためコンテナから離れて待機中の被災者の安全靴の右足先端部に当たり、右足第1指付け根部を骨折負傷した。	37	4	379	30 ～ 49
14	2016	4	15～ 16	野積場において鋼矢板配置替作業をしている時、ダンネジの移動をしていた際、腰に負担がかからないようにしゃがみ込んで作業をしていたが、ダンネジを抱えて上げたところ、腰部に少し痛みが走った。	43	19	921	10 ～ 29
15	2016	3	9～ 10	仕組場で材木をしばっている帯を切ったら、材木がくずれて手はさまって骨折した。	18	4	522	10 ～ 29
16	2016	2	10～ 11	テント倉庫内にて、加工鋼矢板の配替作業に従事していた。門型クレーンを用いて鋼矢板を移動する際、鋼矢板が左右にブレないように両手で支えながら移動していたが足元のダンネジに少し躓き、こらえはしたものの少しひねった様で右足膝部に違和感を覚えた。	54	19	416	10 ～ 29
17	2016	2	10～ 11	輸出用丸棒等の舁積作業の為、舁内にて積荷作業に従事していた。丸棒を3山、クレーンにてワイヤーで吊り舁内におろした際に舁の床面に接地する前に手を添えていたが、その際わずかに丸棒が倒れ、丸棒の山と山の間で左手薬指を挟み込んだ。	58	7	611	10 ～ 29
18	2016	1	23～ 24	輸入コンテナの扉を開ける為、封印をカッターで切断した際に、封印の破片が飛び、一部が右目に当たり、負傷した。	51	4	364	100 ～ 299
19	2015	5	10～	接岸している本船に岸壁から車両を運転して積み込む作業をしている時、ドライバー搬送車のステップ（約55cm）から飛び降	54	3	417	10 ～

			11	り、右アキレス腱を負傷した。				29
20	2015	5	10～ 11	荷受業務に従事中、先に置いた荷物を整理していたところ、次の荷物を積んだトラックが見えたので、整理中の荷物を両手で抱えたままトラックまであわて気味で向かった。その時駐車中のフォークリフトのつめに右足を引掛け、左足で踏ん張ったがこらえきれず転倒、ひざを負傷した。	32	2	222	10 ～ 29
21	2015	2	2～3	出港のために係船用ロープをはずそうとしている時、岸壁備え付けのロープをくくりつけておくポラードとロープの間に、誤って指をはさんでしまい負傷した。	64	7	379	30 ～ 49
22	2014	10	13～ 14	壁の天井近くに張っている札を貼り替える作業の時、リーチフォークで木製パレットをフォークの上に乗せ、そのパレットの上に被災者が乗り、作業員Aがフォークを上昇させた。その際フォークリフトのフレームに右手をかけしゃがんだ状態で目標を見ており、Aが異音に気が付いたときには右手がフレームと梁に挟まれた。	32	7	222	10 ～ 29
23	2014	10	12～ 13	バンカー船のオイルフェンス収納作業を終えて車で本社に帰社途中、ハンドル操作を誤って電柱に衝突。	28	17	231	30 ～ 49
24	2014	9	16～ 17	台風に備え、船を太いロープで岸壁に掛けようとした際、船から岸壁に飛び渡る時、岸壁の車止めにつまずき転倒し、左足ふくらはぎを打撲した。	70	2	419	10 ～ 29
25	2014	8	16～ 17	外航船のボートによる接岸作業中、ボートの支柱からロープを外すとき、強く引っ張ったため右手に痛みを生じた。	62	19	921	30 ～ 49
26	2014	4	9～ 10	被災者は、高さ約2.8mの作業場所で、紙袋からフレコンへ、レジンの詰替え作業に従事していた。作業中、ホッパーの中にビニール製の中袋が詰まったので、それを取り除こうと、安全帯を	18	1	414	50 ～

33	2013	10	7~8	2階事務所を出て階段を降りる際、足を踏み外し、転倒した。	42	1	413	~ 299
34	2013	5	10~ 11	甲板上にて、錆打ち作業中、錆止めの塗料を塗布した際、腰痛を発症した。	57	19	921	50 ~ 99
35	2013	3	9~ 10	はしけから引き船に移ろうとした際、足を滑らせ、転倒。引き船外舷にぶつかり、海中に転落した。	70	2	239	1~ 9
36	2013	3	11~ 12	緩やかな斜面に伐採した木を枝払、玉切り作業中、玉切りした木が転がってきた為、チェーンソーの刃先に当たり、弾みで刃が足に当たり、裂傷した。	27	8	136	10 ~ 29
37	2012	12	14~ 15	水路にて、帰港の為、曳航し始めたところ、舳表側に積み上げた屋根板と、水路上に架かっている人道橋が接触し、水路に転落し際、人道橋と屋根板に指を挟まれ、切断した。	42	7	239	1~ 9
38	2012	9	9~ 10	港でコンテナ船揚作業中、船上に装備されていたクレーンを操作しようとしてクレーン内部梯子に上がり、上部ハッチ蓋を持ち上げようとしたところ、持ち上げきれず誤って手に落とし、負傷した。	62	7	211	100 ~ 299
39	2012	7	8~9	倉庫内にて、客先の製品14tをトラック荷台に積込完了後、水漏れ防止用のブルーシート掛け作業中、袋上部に手を添え、トラック荷台上に降りようとした際、足が袋の紐に引っ掛り、バランスを崩し、足のみで着地し、足首を捻挫した。	44	1	221	100 ~ 299
40	2012	5	16~ 17	船メインデッキの建機ラッシング作業中、車両が所定の位置にはい付けられ、後は背土板のセットのみでアームは既にデッキ床面にセッティングされていた際、船側と車両との間にて待機していたところ、車両のアウトリガーが降下し、アウトリガーと船側との間に腹部分を挟まれ、負傷した。	51	7	142	10 ~ 29
41	2012	1	15~ 16	コンテナ荷役作業中、甲板上に積んである1段目のコンテナに梯子をかけて、コンテナ上に上がっていたところ、梯子の約1メー	38	1	371	100 ~

				トル位のところで梯子棧を踏み外し、足首を負傷した。				299
42	2011	12	9～ 10	Aに止めてあるトラックの荷台上で、荷物（新聞印刷紙）から玉掛用ロープを外しているとき、陸上のクレーンがロープを引き上げる際にロープが左足首に絡まり、ロープとともに引っ張られ、荷物中央の穴にはさまった。	43	7	372	1～ 9
43	2011	10	11～ 12	船上で防災訓練中、油回収装置を手動クレーンを用いて吊り上げ、海上に降ろそうとしてクレーンのロックを解除しようとした時、クレーンのハンドルレバーがはずれ、被災者の左眼に当たり負傷した。	23	4	361	30 ～ 49
44	2011	9	10～ 11	物流センター内において、コンテナ作業後、フレコンはい積み作業中、フレコン1段目を倉庫床面に並べ、次の作業のため2段目に上がり、玉掛作業をしようとしたところ、バランスを崩して床面に転落した（高さ3m）。	31	1	611	50 ～ 99
45	2011	7	13～ 14	古いシャッフルのピンを抜くため、トーチガスを使用してあぶっていた際、シャッフルが倒れそうになったので反射的に左手が出てしまい、誤ってガスの炎でやけどをした。すぐに報告し、病院で治療を受けた。	48	11	513	30 ～ 49
46	2011	6	13～ 14	物流センターにて、トリムバンニング作業中、コンテナ内部にてトリム（貨物）の間に足を取られ、足を負傷した。	30	7	611	50 ～ 99
47	2011	6	17～ 18	使用した道具類の片づけの際、H型鋼材の吊り具が道具箱の下にあった。それを取る為、相方が金棒をテコに道具箱を浮かし当人は右手で取ろうとした時テコ棒がづれ、道具箱と金具の間に中指を挟み負傷した。	25	7	521	10 ～ 29
48	2011	4	14～ 15	三統のデバンオントラック作業を2突作業場で行っていた。コンテナからダクトを出した後、A作業員が別のフォークリフトを使用してトラックに積み込み補助でフォークリフトの床に添木を置いて積み込み作業をしていた。添木の微調整をしながらダクトを	54	7	612	10 ～

				トラックに積み込もうとしたところフォークリフトの床が雨で濡れていた為、滑りA作業員の人差し指と中指を挟まれ負傷した。				29
49	2011	2	15～ 16	コンテナ積み込み作業のため、2名で船内作業をしていた。1段目のコンテナを積み付け後、2段目のコンテナを積み付けていた。船壁側に積み付けるためコンテナを両手で押さえながらコンテナ固定用スタッカーに位置合わせた。位置決め後、合図者にコンテナを下すよう合図した。直接コンテナが固定用ダブルスタッカーに接触した時、反動で浮き上がったため、手前側のスタッカーに左足を叩かれ打撲した。原因は、コンテナ位置調整に集中していたため、少し浮き上がっていたスタッカーの下側に左足爪先が入っていた事に気づいていなかった。	28	7	379	100 ～ 299
50	2011	1	13～ 14	停車中のコンテナ内部のダメージを点検する作業に従事していたが、停車中のトレーラー運転手に声を掛けてコンテナ内部の扉付近で脚立の上に上がり、ダメージの点検作業中にトレーラーの運転手が点検作業終了と思い込み、トレーラーを発車させたためコンテナ内部の脚立の上から地面に背中から転落して、臀部と腰部を強打して被災した。	27	1	221	100 ～ 299
51	2010	12	9～ 10	H専用埠頭に接岸していた自動車運搬船「V」号内、7番デッキ上において、商品車両の固縛作業中に、突然7番デッキパネル(床)が落下(約3m)し、その際デッキパネルから振り落とされ、左半身を強打し負傷した。(原因)不明	39	1	418	1～ 9
52	2010	11	22～ 23	O埠頭C-1バース接続船"U"5番デッキ1ホールド左舷側にて、K向け中古車両のラッシング作業に従事。中古乗用車のラッシング取り直しをチェックマンより指示された。ストラップをタイヤにかけストラップにクラスパーのフックをかけもう一方のフックを隣の中古ワンボックスと同じデッキ上のポイントにかけようとした時、中古ワンボックスのクラスパーのロック部分の締手が外れて勢いよく右手背に当り、その後デッキポイント側のフックも外	32	6	379	10 ～ 29

				れ、右手関節部分に当り負傷した。				
53	2010	10	8~9	A市B港の岸壁で、ガットクレーン用のバッテリーを本船に持ち込むため、バッテリーを接岸用ペンドル(タイヤ)に乗せ、本人もバッテリーが落ちないようにペンドルに乗り、ワイヤーを握って船のデッキまで上昇していたところ、滑車に右手小指を巻き込み負傷した。	41	7	239	30 ~ 49
54	2010	7	13~ 14	小型船舶長として作業のため岸壁の梯子から作業船へ乗り移ろうとしたとき誤ってバランスを崩し右足首を捻ってしまった。たいしたことはなかったので一日の作業を終了したが、夜になって痛みがひどくなり、病院にて診断を受けた。	34	19	239	30 ~ 49
55	2010	6	7~8	A町水面貯木場内の機上で、丸太の選別・仕訳作業中（ハヤスケを使い丸太を突き押ししたり、引寄せたり種類別に分ける）、被災者が丸太を突き押しながら後退し振り向いた処、足場となる丸太が無かった為、バランスを崩し水中に転落した。その際丸太等障害物との接触は無かったが、反射的に無理な体勢をとった為左肩を痛めた。当日は痛みはさほどでなかったが翌日痛みが強まり受診した。	57	1	522	50 ~ 99
56	2010	1	9~ 10	A市埠頭鋼材置場にて、L形アングル（9mm×90mm×150mm×12000m）を出荷先別に選別作業中、14枚を重ねた上1枚を分割するため、アングルの端を両手で持ち上げ、左方へ振った時、足を退けるのが遅れアングルの端が左足に当たり負傷する。	24	6	521	1~ 9
57	2009	8	16~ 17	港湾において、船舶の倉庫内でロープ等の片付けをするため階段を降りていた際、足を滑らせ約1mの所から落下し、右肘と胸部を骨折した。	71	1	413	30 ~ 49
				作業場において、フォークリフト（2.5t）を使用し、輸入貨物のバン出し作業をしていた。コンテナ（40フィート）の中ほどにあったスキッド梱包された貨物（L235cm×W70cm				

58	2009	7	10～ 11	×H126cm、重量約1.9t)を入口付近まで引っ張って来た。その際、フォークリフトの後輪が鉄板(コンテナ進入用)に乗った時、貨物が不安定になって倒れ、手元作業員が両足を直撃され骨折した。	49	3	222	1～ 9
59	2009	4	14～ 15	作業場で工具ボックス(1500×1000×300、重量約50kg)をハンドリフトにて移動中、鉄線が片方の車輪に引っ掛かり、工具ボックスが反対側にいた被災者の左足に転倒し受傷した。	24	4	362	1～ 9
60	2009	3	8～9	岸壁に着岸している船内の船倉でバナナを陸揚げするため、パレットへ積み上げ作業をしていた。バナナを包装しているナイロン袋を鎌で切る際、誤って右手に持った鎌で、左手指を負傷した。	35	8	379	10 ～ 29
61	2009	3	19～ 20	車両運搬船内にて、被災者はシャーシの積込作業を行っていた。シャーシとトラクタヘッドを切り離したのち、運転席に乗り込もうとする際、通常であれば一度地面に降りて、乗り込むのであるが、手間を省くため、車体に取り付けられた、梯子を両手で持ち、梯子を伝わって移動していた時に足が滑り転落した。	41	1	221	1～ 9
62	2009	1	9～ 10	貨物船で、本船内の輸出貨物の固定作業を行っていて、デッキ上での作業から船倉内の作業へと移動するため、螺旋階段を降り、続いて垂直な梯子(エスケープラダー、高さ4m、11段)により船底へ下りようとした時、上から3段目で足を踏み外し、その勢いで両手も握っていた梯子から離れ、3m下の船倉床に墜落し骨折した。	25	1	371	1～ 9
63	2008	8	7～8	岸壁で、シートを船壁に垂らすため、クレーンで巻き上げた際、シートが広がらなかったため、直そうとジャンプし着地したところ、船底のスタッカー用凹みに足を取られ、足首を捻り負傷した。	24	3	417	100 ～ 299

64	2008	6	10～ 11	フレコンパック（ニッケルマット入）を配付けし、その上にシート掛けをしようと配の上に乗し、シートを引っ張ったところ、シートから手が離れて地面に左足より落下した。	55	1	611	50 ～ 99
65	2008	5	11～ 12	少し傾斜している倉庫の入口にて、フォークリフトから降車して後方に回り貨物チェックをしている時、降りる際にサイドブレーキを引き忘れた為、フォークリフトが後方より接近、衝突し、転倒、後輪で足を轢かれた。	25	7	222	10 ～ 29
66	2008	4	9～ 10	パレットの整理をしている際、フォークリフトでパレットを15枚持ち運んだ時、隣の列のパレットがはみ出している事に気付かず前進したところ、パレットとパレットがぶつかり、その反動でフォークリフト右側の柱と顔を接触する。	29	3	222	10 ～ 29
67	2008	4	9～ 10	はしけ船で荷物室上部の屋根板取り外し作業中に、急いで作業をした為屋根板上で足を滑らせてしまい、荷物室の床部に落下し頭に打撲を負った。	68	1	239	10 ～ 29
68	2008	3	14～ 15	本船荷役のコンテナトップ部分のチェック作業に従事していた。サイドチェック担当者の情報入力する端末の調子が悪くなり、交換する必要があった。サイドチェック担当者は1名だった為トップチェック担当者2名の内1名がその端末を回収し事務所にて鋼管する為に構内専用車に乗し、サイドチェック担当者のところに向かっていた。ガントリークレーン2機の間から侵入したところ、隣のバースで作業中の本船トレーラーと衝突した。	35	3	211	10 ～ 29
69	2008	2	6～7	朝出勤し、制服に着替えた後、更衣室から店内厨房（作業場）へ向う階段を降りていた。下より2段目のところで階段を踏み外したため、転倒し、右足を負傷した。	57	2	413	1～ 9
70	2008	2	10～ 11	港の車保管用のヤードにおいて車両運搬船の車両積み下ろし作業に従事している時に、船と陸地をつなぐためのランプウェイの傾斜している部分（陸地側高さ約40センチ）に横から右足をかけて上ろうとしたが左足を宙に浮かせたときにバランスを崩し踏み	46	19	391	10 ～ 29

				外し、右足で着地した。そのときに右足に違和感を覚える。				
71	2008	1	16~ 17	60cm位の高さの品物の上から飛び降りた際、着地した所に小さな溝があり、その溝に足をぶつけ骨折した。	53	1	412	50 ~ 99
72	2007	10	10~ 11	港の埠頭にて、パレット（板ガラス梱包枠）修理作業中に横向けに倒そうとしたところ、手が滑り、誤って自身の足に落下させ、安全靴の保護金具の外側に枠の角が当り負傷した。	43	4	379	50 ~ 99
73	2007	10	16~ 17	フォークリフトにて品物をパレットに乗せて積込み作業中に、荷物を抱えて前進走行をしたところ、前方に人がいて、フォークリフトの荷物を抱えた状態にて接触した。	66	6	222	10 ~ 29
74	2007	10	15~ 16	埠頭内野積場にて、積荷（銅版）の出庫後の清掃中、荷崩れが起きたため、背を向けて退避したところ、足に積荷（銅版）があたってしまい、負傷した。	56	4	611	1~ 9
75	2007	9	11~ 12	工場構内にて、タンクローリー車のタンク上部でタンク内側マンホール付近を高圧洗浄機で洗浄作業中、手元のスイッチ操作に気を取られ、洗浄水が噴射された際、噴射圧力に押され。洗浄水の的がマンホール内側から外れ眼に当たり負傷した。	59	4	519	50 ~ 99
76	2007	7	8~9	車庫にてシートをめくろうと荷台の荷物の上（高さ約1.2m）で作業をしていた時、荷物の上で足を踏み外し、荷台に落ちた。その時に荷物の出っ張りで足を強打し負傷した。	34	1	611	10 ~ 29
77	2007	6	11~ 12	倉庫内において、商品（ミネラルウォーター）の外装検品を行い、良品カートンをパレットに積んでいたところ、作業スペースを広くするために、パレットを移動させようと近づいてきたリーチフォークリフトに気付かず、足を横に踏み出したため、フォークリフトの左前輪に足を挟まれ負傷した。	45	7	222	100 ~ 299
78	2007	6	10~ 11	船倉内出入口階段を降りようとした際に、一段目にムシロがあり、その上に足を置いた時に、ムシロが滑り、足を取られ一回転	33	1	413	50 ~

				して階段を落下した。				99
79	2007	5	8～9	同会社員運転の車2台に分乗し、作業現場に向かっていた際、交差点で当方車輛のブレーキ操作が遅れ間に合わず、前方で赤信号で停止していたトラックの後部に追突し負傷した。	39	17	231	100 ～ 299
80	2007	3	16～ 17	トラックのドレーとコンテナ（リーフコンテナ）の間の荷台に登り、温度チェックを行い、荷台から降りる際に、足を捻り負傷した。	40	1	221	10 ～ 29
81	2007	2	16～ 17	鉄鋼埠頭構内にて、トレーラ荷台上での積込み作業中、まくら木の上に乗った時に、まくら木が回転したため、足を捻り負傷した。	34	1	522	10 ～ 29
82	2007	1	10～ 11	倉庫前において、ショベルカーのフォーク修理のため溶接作業に従事していたところ、不安定な姿勢で長時間作業を行ったことにより、臀部を負傷した。	48	19	999	10 ～ 29
83	2006	8	8～9	出張所サイロ構内屋上において、C-8コンベヤ清掃のため、コンベヤ上蓋を右手で持ち上げている時、手が滑り左手がコンベヤ脇にあったため、コンベヤ上蓋に挟まれ負傷した。	38	7	224	10 ～ 29
84	2006	7	10～ 11	20'フラットコンテナ上のタンクを固定していたチェーンガッチャを外す際、硬く緩まなかったためグリップ部分にパイプを入れ引っ張ったが、引っ張りきれず手を離れたためにパイプが跳ね返って当り負傷した。	41	6	379	10 ～ 29
85	2006	6	12～ 13	農協倉庫にて、配達用パルプ積込み作業中、4トントラック荷台上で足を滑らせて落ちかけた時、角に体ごと当たり、負傷した。	24	1	221	50 ～ 99
86	2006	3	16～ 17	ガソリンスタンドで給油作業中に、給油ホースに足を引っ掛け、段差の下へ前向きで転倒し、体の一部を打ち負傷した。	44	2	391	1～ 9
87	2006	2	8～9	輸出貨物の荷受け作業のため、停車しているトラックの荷台に書類を拡げ整理中、当人の左側に置かれた2段重ねのパレットを運	61	3	379	10 ～

転手が貨物を積み込むため、横に勢いよく移動させたため、左手に当たり負傷した。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。